



有効活用が期待される
スリット式波除堤

地域産業の柱「産業」を元気にして 「にぎわいのあるまち」

つくり・育て・売る漁業の さらなる基礎づくり

水産業については、目標である「つくり・育て・売る漁業」が生産者をはじめ、漁業協同組合の積極的な取り組みから、着実にその成果を現わしているところです。

また、瀬棚港内のスリット式波除堤の有効活用をしながら、さらなる基礎づくりを進めるとともに、マリントウンプロジェクトによる瀬棚港の整備や漁港の計画的な整備に努め、活気のある浜づくりを目指します。

安心・安全な食糧の 安定供給を目指す

農業については、BSEや鳥インフルエンザといった食に対する不安が取りざたされる中、有機農産物などといった、安心・安全な食糧を安定して供給することを、農業振興の柱にしていかなければならないと考えます。

今年度は、新しく国の政策に基づいた水田農業ビジョンをつくり、交付金の活用方法などについて協議し、水田の経営を支援していきます。

また、山間部における不利な耕作条件を克服するため、中山間地域等直接支払事業交付金を活用して、農地の防災対策や農業廃棄物の処理のほか、各生産部門における振興対策を行い、地域農業の挑戦を支援していきます。



中山間地域等直接支払事業交付金を活用した「農廃棄物処理」事業

主な仕事

水産

●港湾の整備1億2千万円●漁港の船揚場土砂除去15万円●サケ海中飼育40万円●ウニを浅いところへ移す(キタムラサキウニ) 180万円●ウニ種苗中間育成(エゾバフンウニ) 49万8千円●アワビ人工種苗購入助成220万円●クロソイ中間育成81万9千円●漁協の広域合併に伴う組合員の負担軽減141万2千円●サクラマス資源増大スモルト放流85万4千円●密漁防止対策13万7千円●ヨド海岸密漁対策・ウニ種苗放流(1万個) 21万円●水産業興基金貸付金150万円●漁業近代化資金利子補給金1万3千円

農業

●国営土地改良事業北檜山右岸地区の負担金など359万1千円●生産性の向上と経営の安定化対策225万5千円●酪農ヘルパー導入に関する助成など135万7千円●農畜産物加工センターの運営3,119万9千円●東大里地区農地防災事業の負担金240万円●農業生産活動事業(中山間) 1,088万6千円●農業協同組合の広域合併に伴う組合員の負担軽減1,000万円●クリーン農業の推進150万円

林業

●民有林の造林助成15万7千円●町有林の維持管理93万3千円●東大里地区の町有林造成268万3千円●長浜林道の維持28万円●茂津多林道の維持48万3千円●生活環境保全林の周辺維持50万円●森林整備地域活動支援交付金355万円●森林管理道大里線の開設3,005万円●植樹事業16万5千円

商工観光

●商工会活動への助成854万円●中小企業特別融資利子補給130万円●観光協会活動への助成81万円●せたな漁火まつりへの助成300万円●自然公園の維持管理534万2千円●青少年旅行村の運営 697万3千円●観光パンフ・ポスターの作成84万円●地下鉄への観光ポスター掲出60万円

労働

●季節勤労者就労前健康診断など34万7千円●雇用促進支援事業524万9千円

産業担い手

●新規産業者支援奨励金50万円●後継者就業準備奨励金15万円



昨年、30回記念として開催された「せたな漁火まつり」

森林管理道大里線などの
林道整備を進めます

林業については、水資源の確保や地球温暖化防止など、効果は広く認められているため、今後とも一人一本植樹事業をはじめ、各種造林事業や、それに伴う森林管理道大里線などの林道整備を進めていきます。

町内一体の取り組みに
できるだけ支援をします

商工業については、「アイラブ瀬棚商品券」や「またせたな市」など、町内が一体となった取り組みが進められているところであり、コミュニティ

ティビジネスの発展としても期待しています。また、昨年改築、移転した新商工会館については機能も充実し、観光案内所としても運営するなど、関係者皆さんのまちづくりに対する意欲を大事にし、支援をしていきます。

観光については、漁火まつりの支援はもちろん、5月に開催する全道海釣り1千人大会の誘致により、シーズン以外での観光客の入り込みを促し、にぎわいあるまちづくりを進めていきます。